

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)(公衆電話)七三〇七

●中江選挙闘争を突破口に、83春闘・政治決戦に勝利し、反
動中曾根内閣を打倒しよう！ ●組織の総力をあげ、国鉄労
働運動解体攻撃―三里塚・二期攻撃を粉碎しよう！
勤労千葉は三月十一日、第六回定期委員会を開催し、反合・八三春闘を
中心とする当面する取り組みについて、3・16集会、3・27三里塚現地集
会を突破口に、中江―北原選必勝、三里塚―国鉄決戦勝利への断固たる戦
闘宣言を発した。勤労千葉一三〇〇の底力を出しきって総決起しよう！

闘争宣言

われわれは、第六回定期委員会の圧倒的成功を確認し、本委員
会で決定された、勝利の路線のもと、重大な決意をこめて今こそ
反撃にたとうではありませんか。

わが勤労千葉への注目と関心が今日ほど高まっている時はあり
ません。敵からは悪意に満ちた誹傍・中傷がなげつけられ、闘う
労働者からは、圧倒的期待がよせられています。
すべての組合員の皆さん、世界をとりまく深刻な不況と失業
のあらし、経済の摩擦と保護主義・排外主義の高まりは、米帝・
レーガンの戦争挑発政策による、アジアの軍事的緊張を一挙に高めています。日帝・中曾根は、戦後
史を一変させる反動攻撃による、軍事大国化・改憲―アジア侵略の道へ突き進み、反戦・平和の闘い
への不敵な挑戦を行ってきています。われわれは、臨調・行革を振りかざし、労働者・人民への生活
と権利をふみにじる福祉の切り捨て、防衛費突出、大増税、人勧凍結、仲裁未実施と財界による春闘
ゼロ回答などの攻撃に、もはや怒りをおさえることができませぬ。

労働者・人民の反撃を恐れる支配階級は、反戦・平和の砦、三里塚と労働運動の拠点・国鉄労働運
動に総決算を求めてきています。情勢は、われわれが指摘してきたとおり三里塚と国鉄をめぐる重
大な決戦段階に突入しています。
国鉄戦線に於いては、「国鉄再建監理委員会設置法案」をはじめ、「緊急措置11項目」の強行実施
による、国鉄労働運動解体攻撃が吹きあられ、とりわけ、「58・X貨物合理化」「乗務員合理化」「心
理適性検査導入」さらには、「職場規律の厳正」を名目とする、「入浴時間規制」の攻撃は、労働者
としての意識・人間として生きる権利すら「剝奪」する攻撃としてかけられています。

一方政府・空港公団は、三里塚二期着工に向け、反対同盟破壊攻撃を強めており、長谷川運輸相の
「パイプライン完成・二期着工」発言と相呼応して、動揺した一部の人々による「一坪再共有化」運
動、「大地共有委員会」なるデッチあげ組織によるクーデターが行われ、重大な組織分裂の危機を招
来しております。しかし、敷地内農民と北原事務局長を先頭とする闘う反対同盟は、「農地死守・空
港絶対反対」の十八年間の勝利の基本路線を堅持して二期着工阻止に向って敢然と闘い抜いています。
「土地を売って金に換える」運動こそは、十八年間の闘いをなげ捨て、反対同盟農民の団結を破壊し
三里塚闘争を敗北に導くものとして、厳しく糾弾されねばなりません。

われわれは、「農民は農地を武器に、国鉄労働者は鉄路を武器に闘う」のスローガンのもと、81・
3ジェットストライキの地平をあくまで堅持し、敷地内をはじめとする闘う反対同盟と連帯して闘い
抜く決意であります。

まさに今、わが勤労千葉の81・3ジェットストライキの切拓いた地平を継承発展させるのか、それ
とも動労「本部」革マルの「働こう運動」「警察労働運動」の道に転落するのかが、厳しく問われて
います。さらに、多くの国鉄労働者が「闘う路線」を求めていることは、わが勤労千葉への分離独立
の理念が正しく実証されたものとして確信できるものであります。

今こそ闘う多くの労働者とスクラムを組み、三里塚敷地内農民との共闘の強化を勝ちとり、労働連
帯の真価を発揮し、三里塚―国鉄決戦を闘い抜くとともに、3・16労働者集会を突破口に、3・27三
里塚現地闘争を総決起で勝ちとり、国鉄の中江―三里塚の北原両選挙闘争を勤労千葉の組織の命運を
かける闘いとして全力で闘い抜き、83春闘―政治決戦に全力で決起しようではありませんか。

右宣言する。

一九八三年三月十一日

勤労第6回定期委員会



中江-北原選勝利、三里塚-国鉄決戦への総決起を訴える長谷川議長

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

国鉄千葉動力車労働組合
第六回定期委員会